群青

仙台市立第一中学校
第３学年だより
第23号2022.1.11

「有終の美」,「大いなる飛躍」を！

新年明けましておめでとうございます
本年もよろしくお願いします

時の流れは早いもので,新年を迎え早くも10日が過ぎてしまいました。
同時に,この子どもたちとの別れの場面もあっという間にやってくるのだろうと思っています。
卒業まで約30日の登校を残すのみになり,子どもたちにとっても,残り少ない一中での生活になります。
表題にも掲げましたが,「有終の美」「大いなる飛躍」をテーマに掲げ子どもたちと関わっていきたいと思います。当然,受験と並行した中での生活になりますが,気持ちよく一中を巣立たせることが,高校生活をスタートさせるために必要なエネルギーになると捉え,子どもたちと関わっていきたいと思います。職員一同力を合わせ,尽くしていきたいと思います。残りわずかですが,本年もよろしくお願いいたします。

◆村上春樹（日本の小説家，翻訳家）
「僕たちは一年ごと，一月ごと，一日ごとに齢を取っていく。時々僕は自分が一時間ごとに齢を取っていくような気さえする。そして恐ろしいことに，それは事実なのだ。」

◆平尾誠二（日本のラグビー選手，ラグビー元日本代表監督）
「時間って命の一部なんですよ。」

◆ジョン・レノン（英国のミュージシャン，ビートルズのリーダー）
「人生は短い。だから友よ，空騒ぎしたり，争ったりする暇なんてないんだ。」

◆蜷川幸雄（日本の演出家，映画監督，俳優）
「若い頃，僕の時間は未来へ向けて無限にあるように思えた。今，僕は終末の時間から逆算する。すると，人も風景も，そう，何もかもが違って見えてくる。僕は，疾走する。」

◆田中角栄（日本の政治家，元内閣総理大臣）
「時間の守れん人間は何をやってもダメだ。」

話は戻りますが,年齢のせいか,いつの頃からか時間の経つのがずいぶん早く感じられるようになりました（苦笑）。過去の偉人たちも言葉に残しているように,時間の大切さは誰もが認識しています。
しかし,いざ生活の習慣を改めるとなると,これがなかなか難しいと自分を戒めています。やはり,若い頃の習慣作りが大切なのでしょうね。

冬休み明け集会　学年代表発表
「新年の抱負」　6組　A.S

冬休みが終わり，2022年の学校生活が始まりました。今年１年を有意義なものにするため，抱負を二つ掲げました。

一つ目は，「適性の発見」です。これまで自分が「受験生」であることを意識し始め，自分にいろいろと制約を課しました。そのため，新しいことにチャレンジすることが少なく，自分の中では不完全燃焼感がありました。その反動か，高校生になってから新しく始めたいことがたくさんできました。しかし，欲張りすぎてあれこれ手を出しすぎた結果，結局何も定着しないまま終わることはしたくないと思っています。そうならないよう，一度にたくさんのことに手を出すのではなく，計画的に一つずつ確実にこなしていきたいと思います。そして，いろいろなことを身につけていく中で，自分の適性を発見し，本当に夢中になれるものを探していきたいと思います。

二つ目は，３年間私たちを支えてくれた方々に感謝の気持ちを示すことです。私たち３年生は，もうすぐ卒業し新天地に向かいます。そのため，お世話になった先生方や仲良くしてくれたクラスメイトや部活動の仲間，放課後除菌をしてくださった保護者の方々など，私たちの生活を支えてくださったすべての方々にしっかり感謝の気持ちを伝えたいと思っています。よく，卒業まで残りわずかということから気が緩み，日々の生活をいい加減にしてしまうことがあると聞きます。しかし，もうすぐ卒業するからこそ最後まで模範となる行動を行うべきだと思っています。「あいつは当たり前のことを当たり前にできるから卒業させても大丈夫」そんな風に思われる姿を示すことこそが私たちにできる最大で最高の恩返しなのだと思います。

この二つを抱負に掲げ，この寅年を邁進していきたいと思います。

今年の干支「寅年」は・・

中国伝来の十二支は，もともと植物が循環する様子を表しており，その年の特徴につながるといわれています。寅は十二支の3番目で，子年に新しい命が種の中で芽生えはじめ，丑年には種の中で育つがまだ伸びることができない。しかし寅年は，春が来て根や茎が生じて成長する時期，草木が伸び始める状態だとされています。すなわち，新しい日常の「始まり」を示しているそうです。

また，「寅」という漢字は，弓矢を両手で引き絞る形を表した象形文字であり，もともとは，引っ張るや伸ばすといった意味で使われていたようですが，矢が放たれる準備段階を示していることから，「動き始め，胎動」という意味が派生したとのことです。事をなすためには，日頃から地道に自分を磨き，実力を養う必要があるということなのでしょうか。

2022年「寅年」，子どもたちにとっては新たな環境に大きな一歩を踏み出す年。その一歩が，それぞれの将来に向けた，真っ直ぐで力強い一歩となることを願っています。

いよいよ本格的に高校受験が始まります

明日，いよいよ私立高・高専の推薦等入試が行われます。本格的な受験シーズンの到来です。

先週末，受験予定の子どもたちに対し事前指導を行いました。約50名の子どもたちを見たとき，不謹慎にも「水曜日は，給食がたくさん余っちゃうな」とその人数の多さに目を見張りました。そして，会に臨んだ子どもたちの表情からは，自信，期待，熱意，緊張，不安など様々な表情がうかがえ，なんとも言えない張り詰めた空気を感じました。

そんな中，私が子どもたちに伝えたのはただ一つ，「コンディションを万全に整え，自分のいいところをしっかりアピールしてきなさい」ということでした。

ほとんどの子が初めての体験を前に，落ち着かない気持ちでいることは間違いないことと思います。面接，作文，筆記試験など課せられている課題は受験校によって異なりますが，これまでたくさんの努力を重ねてきた子どもたちです。直前になって慌ててあれこれするのではなく，自分を信じて，自然体で受験に望んでほしいと思ったからです。

今後，受験が無事終わること，全員によい結果がもたらされることを願って止みません。

祝　全国大会第3位

バスケットボールJr.ウィンターカップ2021-22　第2回全国U15バスケットボール選手権大会

年が明けて間もない4日より，東京の上記の大会が行われました。

本学年の3名（2組：Y．Aさん，3組：K．Iさん，5組：K．Aさん）が所属するErnestクラブが，昨年に引き続き本県の代表として出場しました。

その結果，昨年度の結果を大きく上回る，3位入賞という大殊勲でした。

その奮闘ぶりは，多くの職員で観戦し，大いに楽しませてもらいました。

選手の皆さんはもちろん，これまで手厚くサポートなさってきた保護者の皆さん，お疲れ様でした。そして，おめでとうございました。おかげさまで気持ちよく新年のスタートを切ることができました。

〔今大会の戦績〕

２回戦	対	PANTHERS Ｊｒ	（大分）	６５－５２快勝
３回戦	対	岐阜ダークプリンセス	（岐阜）	６１－５５快勝
準々決勝	対	百合学院中学校	（兵庫）	７６－７０快勝
準決勝	対	京都精華学園中学校	（京都）	４７－７３惜敗

「学校給食フェア2022」の開催について

優秀賞『給食で　感じる地元の　味と愛』

６組　Y.H

市教委主催で，全国学校給食週間に合わせ，食育と学校給食への理解と関心を高めることを目的に下記の要項で「学校給食フェア2022」が開催されます。

その際，令和2年度学校給食標語コンクールで優秀賞に選ばれた市内の生徒作品が展示されます。

お近くにお出かけの際は，ぜひご覧になってください。

1　展示期間　令和4年1月17日(月)～21日(金)
8:30～17:00（最終日は16:00まで）

2　展示会場　仙台市役所　本庁舎1階　ロビー